

令和3年(2021年)9月22日

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会 様

枚方市長 伏見



「第5波のコロナ感染の爆発的な拡大に実効あるコロナ対策を求める要請書」  
に対する回答書

要請内容

①早急に、医療崩壊や医療放置の現状を改善するために病院・病床を増設し、感染したら安心して医療の保護の下に入院・治療が受けられるように大阪府や国と連携して対策を講じること。また市独自でもできる対策(市立病院の運用、臨時の医療施設の設置、民間医療機関への支援等)を今すぐ、行うこと。

【回答】

保健医療課

大阪府においては、病床の確保をはじめとする府内の医療体制の管理・運用については大阪府が一元的に実施しています。引き続き、大阪府と連携し、必要な医療体制の確保に努めていきます。

市立ひらかた病院医事課

厚生労働省や大阪府との連携のもと、市立ひらかた病院では、新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として、フェーズ毎の受入病床を確保するとともに、外来においても発熱外来を設置するなど診療体制を整えています。

②自宅療養者の人数はどれくらいか。また自宅療養者のサポート体制は十分に行われているのか。

【回答】

保健予防課

9月10日時点で療養中の方は510人。内入院・宿泊療養の調整中の方を含め、様々なご事情により自宅療養中の方は255人です。

(次頁へ)